

園だより



ご卒園おめでとうございます！

—新しい未来への第一歩を祝して—

第一幼稚園 第4号 2013. 3. 15

月日の経つのは本当に早いもので、年長組の子ども達はいよいよ明後日「卒園のとき」を迎えます。

この一年、私達は『子ども自身が自分で考え、選択し、実行していく過程を大切に』生活してきました。生活や遊びの場で子どもが困難にぶつかったときには、直ぐに解決方法を知らせるのではなく、「どうしたらいいのかな。」と言葉を掛け、先ずは自分で考えるよう促してきたところです。安心できる環境の中で、ひとり一人が自分の思いを言葉で表現し、相手に伝える経験を積み重ねることで、「こんなかんがえもあるんだなあ」と他児の思いに気付くことができました。ひとりでは上手くいかないことも、友達と力を合わせることで乗り越えることができたように思います。

また、日常的に続けてきた“良いところみつけ”も「自己肯定感」や「他者との調和・コミュニケーション能力」につながる重要なものとして、互いを認め合う関係づくりの基になっていたような気がします。

子ども達はこれからも様々な困難にぶつかることと思いますが、園生活での経験を活かし、決して諦めることなく一步一步進んでいってくれるものと信じています。

「話を良く聞くこと」「元気良く返事をする事」「目と目を合わせる事」など、園生活で大事にしてきたことの意味を再確認しながら卒園式のお稽古を行ってきましたが、子ども達のまっすぐで真剣な眼差しから“頑張るときは頑張る”の気持ちがひしひしと伝わってきました。当日はきっと自身に満ちた笑顔で式に臨んでくれることでしょう。

保護者の皆様には、園のパートナーとして在園中温かいご協力をいただき本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。お子様は卒園されますが、第一幼稚園はいつまでも「心のふるさと」として皆様の成長を見守り続けてまいります。いつでもお気軽にお立ち寄りください。



ありがとう



これからも 大切なメッセージを
みんなで伝えていきましょう

食 育

園で最後のお弁当だった14日。子ども達からの心を込めた「ありがとう」のメッセージが伝えられたことと思います。(右上写真)お母様が、忙しい中毎朝子どもさんの喜ぶ顔を思い浮かべながら作られたお弁当は、空腹を満たすことプラス何にも負けない「心の栄養」になったことでしょう。

これからしばらくは『学校給食』にお世話になりますね。でも朝食・夕食はできるだけ家族揃って食卓を囲み、楽しく食べる習慣をつけていってほしいと思います。

そして、是非子どもたちに『我が家の味』を伝えていってください。

安 全

園では、子ども達が自分で自分の身を守るようになるためにはどうすればよいのかを常に考えながら、様々な活動に取り組んできました。園での決まりやバス乗車での約束事を伝える際には、『なぜそれが必要なのか』を分りやすく話してきたところです。

4月からは、歩いての登校となりますね。

登下校中の『安全』に関しては、保護者の皆様が子ども達としっかり話し合い、大切な命を自分で守るという意識を持たせてほしいと思います。

ひとり一人ができることを

東日本大震災の原発事故を受け、昨年の夏は「計画停電」の話も出ていましたが、今ではその記憶も薄れてきています。また、秋に開催した「水のお話し会」で、私達は大切な熊本の水を守るために、ひとり一人ができることについて学びました。

限りある資源を守り、次世代に残していくために、これからも「節電」・「節水」について共に考えて取り組んでいきましょう。